

2017年12月14日（木）

「クリスマスの集い」

イエス様をおむかえしよう

12月はイエス様がお生まれなった月。

子ども達は11月末からイエス様への心の贈りものの準備を始めました。集いの企画担当の4年生は、9月からどのような会を目指すのかを話し合い、グループに分かれて様々な準備を進めてきました。



集い当日、講堂に入ると4年生のハンドベルの音色が静かに響いていました。



4年生による『くつやのマルティン』。

イエス様のやさしさは「身近にあるもの」というメッセージを伝えてくれました。



また、クリスマスチャリティーの送り先の1つである、フィリピンのナガの教育施設を紹介し、そこにいらっしゃるシスターにたくさんのお聞きし、全校児童に教えて下さいました。



『天使のキャロル』の歌が美しく響き、その後、全校で『主の祈り』を唱えました。



各学年の実行とチャリティーを祈りと共にお捧げしました。

4年生は全員で「なぜイエス様がお生まれになったのか」を考え、「イエス様のやさしさを広げよう」と、一人ひとりがこの集いを支える一人として、様々なことさらに誠実に取り組みました。



こんなところも4年生が。「どうぞ、集いのプログラムです。」
この他にも、学校全体が温かく幼子イエス様をお迎えする雰囲気になるよう、
聖書のお話や絵画の紹介、歌やお祈りの集い、
各学年のクリスマスチャリティーの送り先の紹介も行いました。

全校の実行と祈りが、世界の平和への灯となりますように。
そして、24日のクリスマスに、世界中が幸せの光に包まれますように。